

産地情勢 (2023.11.16)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は2023/24年産の生産見通しを119百万トンで前年比91%と発表。価格の高い大豆にシフトすると予想している。(9月21日)

クロップ カレンダー	作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)	8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内 飼料需要 向
サリナ・コーン (冬作)	1-3 月上 旬	4月	6-8月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

作付けは61%進捗(平年71%)した。この2週間北東部や中部は高温で平年の2割しか降雨がない。南部は平年の2-3倍の降雨となっている。(11月14日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロップ カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

作付けは24%進捗(平年33%)した。とうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換してとうもろこしの作付面積が減少するとみられる。(11月15日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

アルゼンチン産大豆

作付けは6%進捗(平年19%)した。北部産地で早植えのとうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換して大豆の作付面積が増加するとみられる。(11月15日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロップ カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測 (11月9日)

とうもろこし

(百万トン)

	2021/22	2022/23	2023/24
米国 (9-8月)	382.9	348.8	387.0
ブラジル (3-2月)	116.0	137.0	129
アルゼンチン (〃)	49.5	34.0	55

・米国は 2023/24 年度が生産量が 2.6 百万トン増加した。単収が前月比 1.9 ブッシェル増加した為で、期末在庫率は 14.9%に 0.2%増加した。

大豆

(百万トン)

	2021/22	2022/23	2023/24
米国 (9-8月)	121.5	116.2	112.4
ブラジル (2-1月)	130.5	158.0	163
アルゼンチン (4-3月)	43.9	25.0	48

・米国は 2023/24 年度が生産量が 0.7 百万トン増加した。単収が前月比 0.3 ブッシェル/エーカー増加の 49.9 ブッシェル/エーカーとなったため期末在庫率は 5.86%に 0.6%増加した。

・ブラジルの 2022/23 年度が生産量が 2 百万トン増加した。

*北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。(USDA)